

皇海山(2144m)山行報告

【山行日】 2015年10月 18(日) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 4:00
【費 用】 マイカー2台 : 2,000円
【メンバー】 CL:鈴木、石川、香川、梶内、
島田、関、津佐、藤原、松館、渡辺ト、渡辺ミ
【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝皇海橋
P6:35/6:55～不動沢のコル 8:30/8:40～皇海
山 9:30/9:45～不動沢のコル 10:30/10:40～
鋸山 11:30/11:40～不動沢のコル
12:20/12:50～皇海橋 14:20/14:40＝岩舟支
所 P18:00



栃木県と群馬県の県境にある、日本百名山の皇海山に登りたいとリクエストがあり計画した。



今回は皇海橋から不動沢を詰めて登る、短縮コースを登ることにした。このコースは、アプローチに悪路で名高い栗原川林道を通るので、募集案内ではレンタカーの4駆車を借りて行く予定だったが、参加者が多いのでワゴン車2台に分乗し行くことにした。根利側から栗原川林道へ入り、悪路を1時間走り登山口の皇海橋に着く。橋を渡った駐車場にはトイレが完備されている。トイレとストレッチを済ませ出発する。橋を渡りすぐ左側の林道が登山口。

林道を進み、三つ目のカーブで左の登山道に入り不動沢を渡渉する。不動沢の右岸を道標や案内板に従って進むとやがて二俣に着く。二俣からは案内板に従って右股を進み、沢の中を歩くようになる。道らしい道は無いので、歩いた跡を見極めながら登って行く。

二つ目の二俣も右の沢を進み、三つ目の二俣も案内板に従って右の沢を登る。

ここからは傾斜が急になり、ロープや木の根に掴まりながら慎重に登って行く。やがて沢から離れ、右側に樹林の中を登るようになり、傾斜が緩くなると不動沢のコルに飛び出る。

ここからの鋸山の岩峰群は見事。

景色を楽しみながら、大休止とし果物や菓子で水分とエネルギーを補給する。

コルからは左に樹林帯の中を登るようになる。



途中何ヶ所か開けた所があり、富士山が見え歓声上がる。ダケカンバやシラビソの樹林帯の急



登をしばらく行くと傾斜が緩くなり、深い木立の中に青銅の剣が建ち、少し登ると皇海山山頂に出る。山頂は樹林の中で、あまり眺望は良くないが日光白根山や男体山が樹間から望むことが出来た。山頂で記念写真を撮り、ナシや菓子を食べて登頂の喜びを分かち合う。山頂からは、来た道を不動沢のコルまで下る。不動沢のコルに荷物をデポし鋸山山頂を目指す。樹林帯の中を緩やかに登り、一旦下った鞍部からは急な登りとなりロープや鎖を頼りに登るようになる。

ロープや小枝を頼りに滑りやすい急斜面を頑張ると鋸山山頂に出る。

山頂からは、360度の大展望が得られ素晴らしい。眺望を楽しみながら、K氏持参のクッキーやグレープフルーツをいただく。記念写真を撮り、来た道を戻り不動沢のコルに下る。登ってくる登山者が多く、すれ違いに時間が掛かるがあせらずゆっくり降ることにする。何とか危険箇所をクリアし、無事に不動沢のコルに着きランチタイムとする。今日のランチは、ヒラタケと鳥海ナメコたっぷりのキノコうどん。ナスにも味が良く浸み美味だと好評だった。

不動沢のコルからは来た道を戻る。

源頭部の急降下は慎重に降り、二俣まで降りると紅葉を楽しむ余裕が出る。カエデやカラマツの紅葉がちょうど見ごろで、陽光が透けた広葉が素晴らしい。皇海橋の登山口に戻り、トイレを済ませ帰路につく。林道の紅葉も素晴らしく、途中車を止めて紅葉を楽しむ。もう少しで林道のゲートという所で、車の右前輪がパンクした。広い駐車スペースまで



車を走らせ、タイヤを見るとズタズタに破れていた。S氏が持ってきたタイヤを合せてみたが、メーカーが違うので合わない。JAFにTELし来てもらうことにし、S氏の車に8名乗せ先に帰ってもらう。2時間半後JAFが到着したが、レッカーで吊り下げての走行は悪路でできないとの事。タイヤを外し、沼田市のタイヤ店でタイヤを入れ替え持ち帰ってタイヤを付ける。この間3時間掛かり、お二人には暗闇の中待ってもらった。

無事タイヤが直り、岩舟支所に22時過ぎに着き、長〜い一日がやっと終わった。

お二人さん大変お疲れ様でした。